

第21回全国シニアソフトボール山口長門大会



「仙崎みすゞ」が優勝

全国シニアソフトボール連盟主催の「第21回全国シニアソフトボール山口長門大会」が5月16日から19日までの4日間、長門市と大津郡3町の7会場で開催され、全国各地から大会史上最多の105チームが参加して熱戦を展開しました。

長門市からは「仙崎みすゞ」「長門近松スターズ」「仙崎ブレンド」の3チームがシニアの部に参加し、「仙崎みすゞ」が見事優勝を飾りました。

16日、小河内公園グラウンドで行われた開会式では、全国シニアソフトボール連盟の中村卯汰郎会長のあいさつに続き、松林市長が開催地を代表して「この地域の自然や文化、食を楽しんで、楽しい思い出を」と歓迎の言葉を述べ、「仙崎みすゞ」の吉富豊さんと小田浩二さんが力強く選手宣誓を行いました。

大会は、シニアと古希の2つの部門があり、今年末で59歳以上を対象としたシニアの部に82チーム、今年末で68歳以上を対象の古希の部に23チームが参加しました。



選手宣誓する吉富さん（左）と小田さん（右）

仙崎みすゞ

「仙崎みすゞ」は2日目の17日、日置町総合運動公園グラウンドで予選を戦い、1回戦で徳

島県の八万休協シニアに16対5、2回戦では福岡県のシニア古賀ソフトクラブに3対1、3回戦島根県の松江フイフティーズに13対2と勝ち上がりました。

3日目の18日は、会場を三隅町総合運動公園グラウンドに移し、4回戦で昨年度シニアの部の優勝チーム、広島県の呉シルバール友会と対戦して4対0、続く準々決勝でも福岡県の北九州クラブ・シニアに4対0のスコアで連続完封勝ちし、ベスト4入りを決めました。

最終日の19日は、小河内公園グラウンドで準決勝と決勝が行われ、準決勝で福岡県の福岡クラブと対戦して5対0の3試合連続の完封で決勝にコマを進めました。続いて行われた決勝戦では愛媛県の石井休協シニア東と対戦し、初回に1点先取されたものの3回に5点を奪い逆転、最終的に1点差まで追い上げら